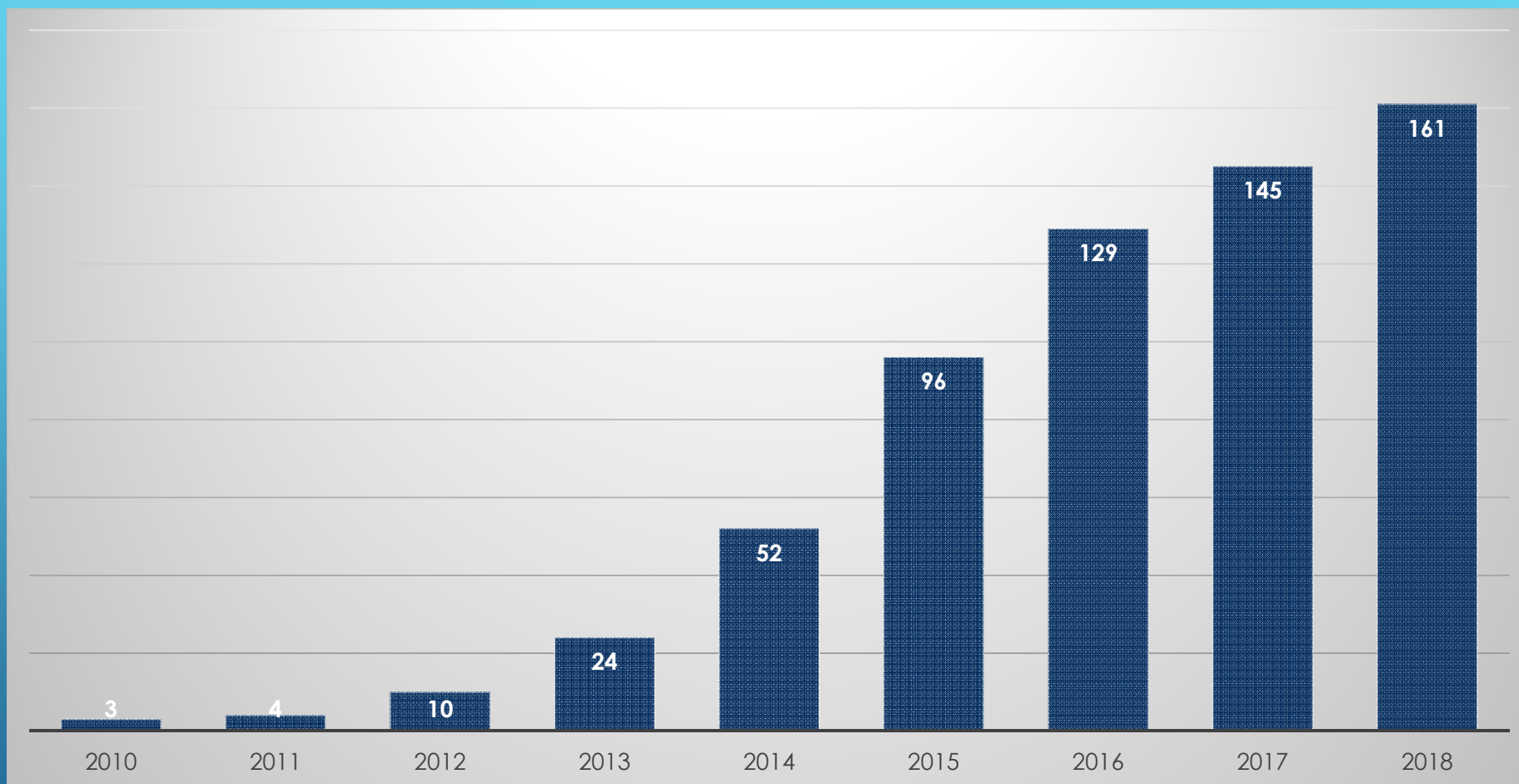


日本会計基準採用企業以外の特徴と 工事進行基準の工事進捗度に関する 一考察

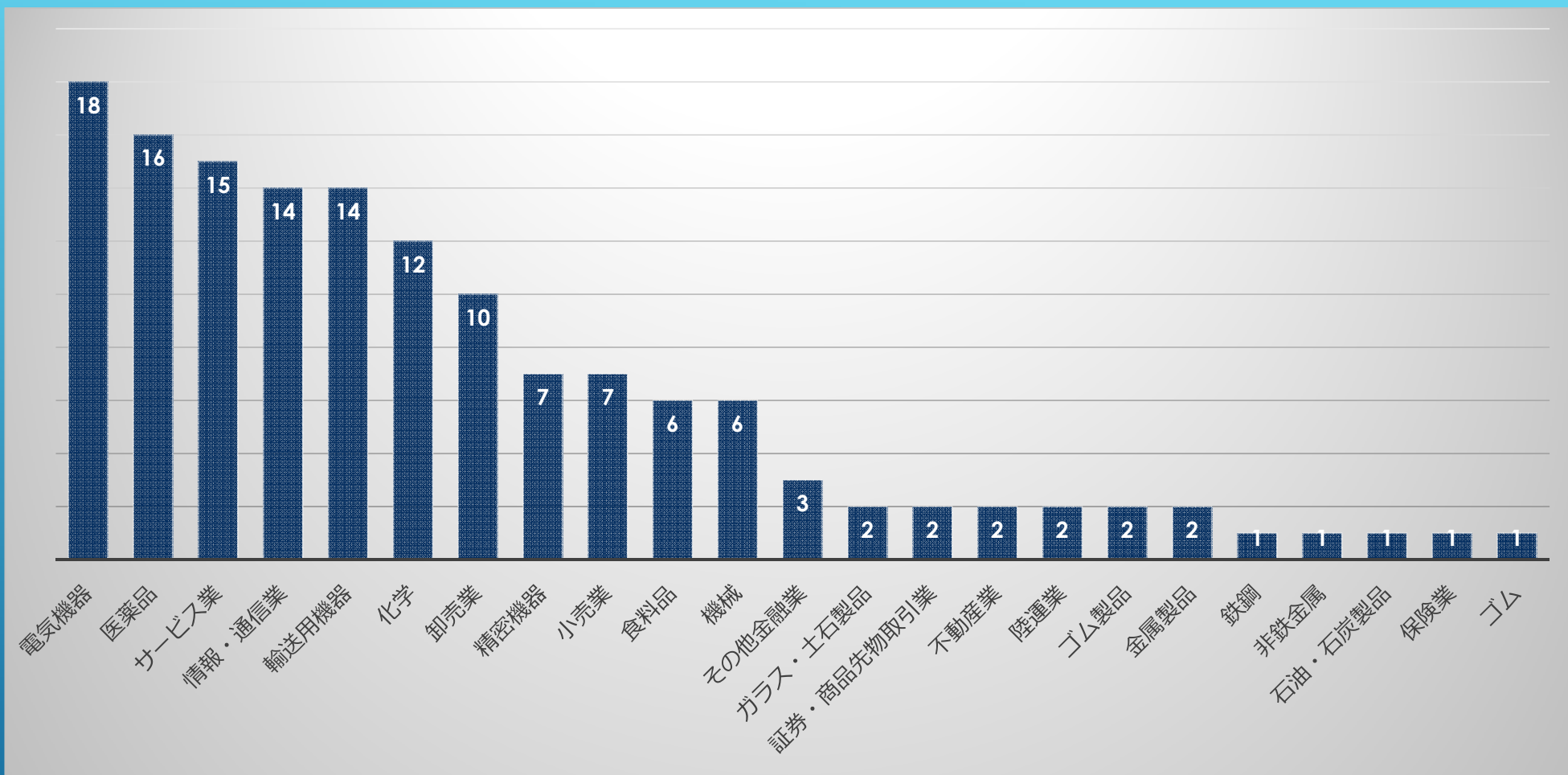
工事進行基準研究小委員会
小委員長 山田貴久



IFRSの任意適用企業数の推移（上場企業）

（備考）2018年は1月から6月末までの合計値

（出所）日本取引所グループ <https://www.jpx.co.jp/listing/others/ifrs/index.html>



IFRS任意適用企業の業種別数（上場企業）

（備考）2017年末までの145社を分類した。

2018年8月1日（水） 土木学会 15時50分～16時10分

（出所）日本取引所グループ <https://www.jpx.co.jp/listing/others/ifrs/index.html>

IFRS採用企業が増加する理由

1. 日系企業の事業活がグローバル化が進んでいる。
2. 海外の企業とのM&Aを高率的に進めることができる。
3. 財務諸表が海外企業と比較し易くなるためグローバルな視点で資金調達が有利になる。

M & A会計基準の比較

項目	日本基準	IFRS	米国基準
結合の方法	パーチェス法	パーチェス法	買収法（実質的にパーチェス法と同じ）
のれんの処理方法	正ののれんは、20年以内で定期的に償却し、販売費および一般管理費として処理 負ののれんは、発生した年度に特別利益に一括計上	定期的償却を行わない（減損処理しない限り残存する）	定期的償却を行わない（減損処理しない限り残存する）
のれんの減損処理	減損対象	減損対象	減損処理
のれんに関する減損損失の戻しいれ	認められる	認められない	認められる

のれん計上額の比率が高い企業

(単位：億円)

企業名	決算期	連結基準	のれん	自己資本	のれん/自己資本
ソフトバンク	2017年03月	IFRS	41,755	37,058	113%
JT	2016年12月	IFRS	16,020	16,619	96%
電通	2016年12月	IFRS	7,187	8,572	84%
サントリーBF	2016年12月	IFRS	4,073	5,522	74%
武田	2017年03月	IFRS	10,227	15,289	67%
楽天	2016年12月	IFRS	3,584	5,957	60%
NTTデータ	2017年03月	日本基準	3,153	7,987	39%
日立	2017年03月	IFRS	5,272	14,972	35%
キャノン	2016年12月	米国基準	9,364	27,831	34%

(注記) 2016年度決算の企業（金融機関、債務超過の企業を除く）における連結貸借対照表により算出。

IFRSののれんの特徴

1. のれん代の定期償却をしないため、景気が悪化し買収事業の採算が悪化した場合は、多額の減損処理を迫られる可能性がある。
(例として、東芝のウエスチングハウスの買収でののれん代等)

進捗度の見積に関する検討

1. 進捗度の見積方法 インプット法とアウトプット法

方 法	方法の説明	測定例
インプット法	履行義務の充足のために会社が会社の労力又はインプットが当該履行義務の充足のために予想されるインプット合計に占める割合に基づいて収益を計上する方法	<ul style="list-style-type: none">・ 原価比例法（発生コスト）・ 費消した資源・ 発生した労働時間・ 経過時間
アウトプット法	現在までに移転した財又はサービスの顧客にとっての価値を直接的に測定し、契約で約束した残りの財又は残りのサービスとの比率に基づいて収益を計上する方法	<ul style="list-style-type: none">・ 生産単位数・ 引渡単位数・ 経過期間・ 現在までに完了した履行調査

11. ・役務の提供に係る収益の帰属の時期の原則、履行義務が一定の期間にわたり充足されるものに係る収益の額の算定の通則(基通2-1-21の2～5 新設)
・請負に係る収益の帰属の時期(基通2-1-21の7 新設)

- 一定の期間にわたり充足される履行義務については、**履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識**(基準41)

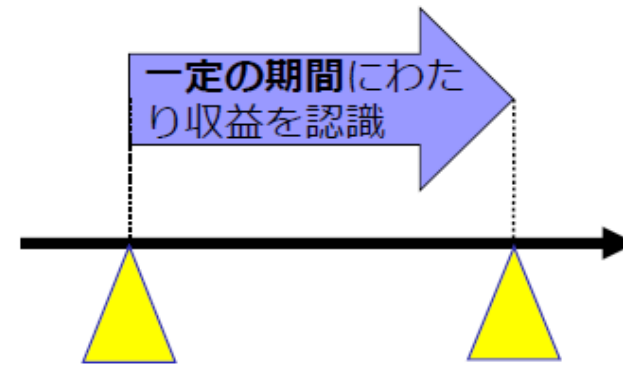
<進捗度の見積り方法>

・アウトプット法

使用される指標⇒ex.生産単位数、引渡単位数、経過期間

・インプット法

使用される指標⇒ex.消費した資源、発生した労働時間、経過期間



法人税基本通達の対応

- ・ 提供した役務につき通常得べき対価の額に相当する金額について、履行義務が一定の期間にわたり充足されるものであれば、各事業年度の進捗度に応じて益金算入することとする
- ・ 請負（工事進行基準の適用を受けるものを除く。）については、原則として引渡し等の日の属する事業年度の益金とするが、進捗度に応じて益金算入している場合には、これを認める

アウトプット法について

工事進捗状況及び決算日における工事進捗度を比較することで、決算日における工事進捗度が正常か否かを検討することができると考えられる。

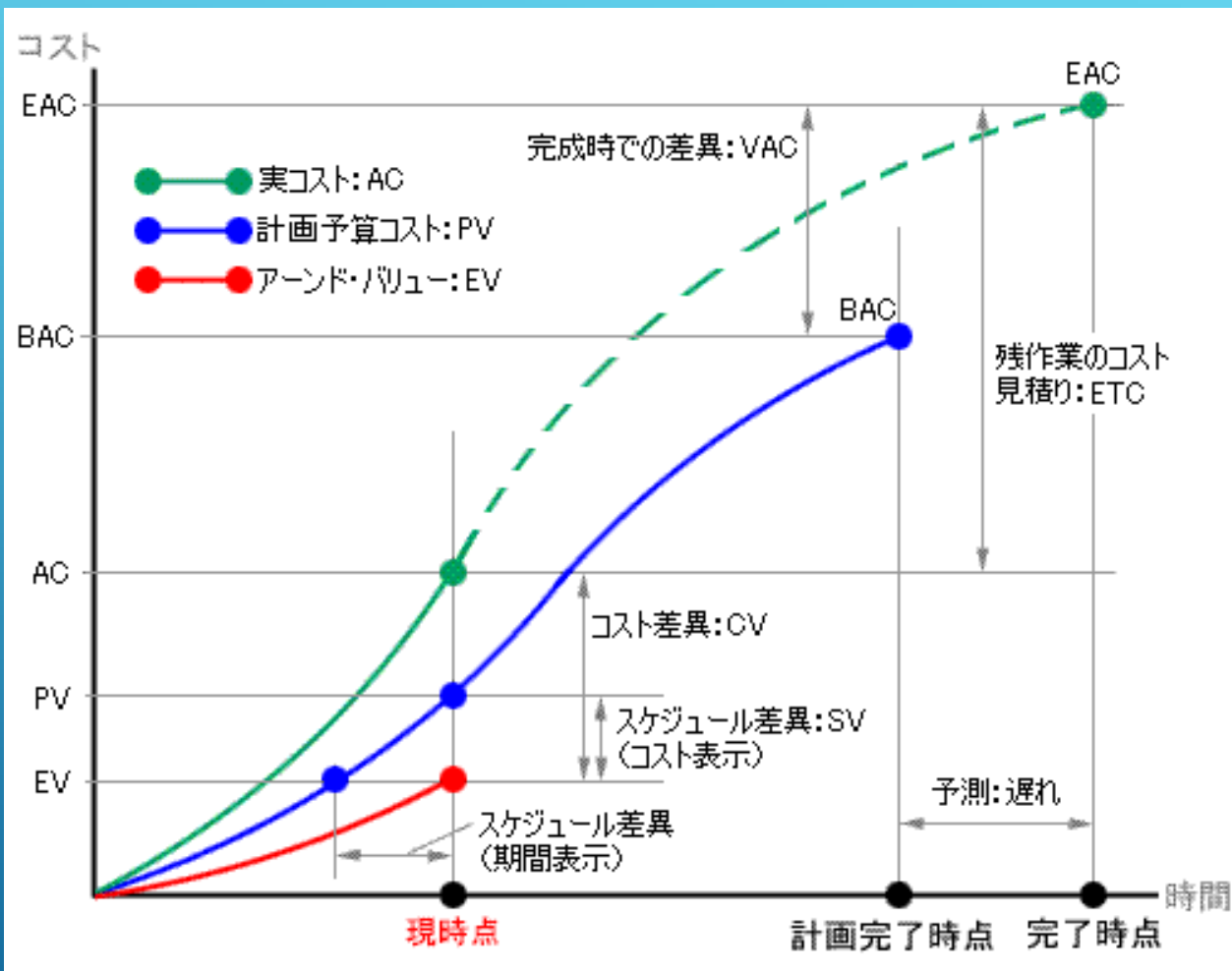
縦軸

工事内容
実行予算額
出来高割合
工期割合

横軸

アーンドバリュー
マネジメントにより測定精度
の向上を図る

10



- 凡例
- EAC : 完了時コスト
 - BAC : 完了時予算
 - EV : 出来高

EVM概念図

まとめ

1. IFRSの任意適用企業数は増加の傾向を示している。
2. 電気機器、医薬品に関係する企業の割合が多くスーパーゼネコンは全て日本基準である。
3. IFRS適用企業は、M&Aを効率よく進めようとする企業が多い。
4. 多額の減損処理が必要になった場合財務状況は急激に悪化する。
5. 適用するに当たっては、インプット法及びアウトプット法の両方を用い適切な処理が必要である。12